

# 心考体感

2019年度  
第59代理事長  
中西秀和



～全力で挑戦することにより、  
得られる魅力を感じよう～



- ・ 伝統文化に触れ、郷土愛あふれる青少年の育成
- ・ 地域で必要とされる団体へ
- ・ 会員拡大と優れたリーダー育成
- ・ 輝く創立60周年に向けて
- ・ 絆を深める岡山ブロック懇親野球大会へ

## 【はじめに】

1960年、一般社団法人西大寺青年会議所は、明るい豊かな社会の実現のために創立されました。これまでの58年間という長い年月の間、西大寺青年会議所及びこの地域の発展に御尽力いただいた先輩諸賢、そして我々の運動にご理解、ご支援いただきました地域の皆様に心より感謝申し上げます。

私は西大寺青年会議所に入会して11年目を迎えることとなります。10年間という年月を青年会議所という団体

で過ごさせていただき、たくさんの事を学び、体感させていただきました。その中の一つに、全力で事業を行い、最善を追求し続けていくことにより味わうことができた達成感というものがあります。そして、その過程の中には、達成感だけでなく、様々な青年会議所運動の魅力があり、本年度はこの魅力をメンバーに体感していただきます。その魅力とは、人の支え、仲間、友情であり私自身、これを深く感じながら事業を行ってきました。

本年度スローガンを「心考体感（しんこうたいかん）」と掲げさせていただきます。これは、字のままに心で考え、体で感じるということです。心で考え、思いの詰まった事業を構築し、そしてその事業に関わった全ての方々に、体感して頂きたい、という考えからです。このスローガンのもと、2019年度もメンバーとともに切磋琢磨し、1年間精進してまいります。

## 【伝統文化に触れ、郷土愛あふれる青少年の育成】

加速度的に変化する時代の中で、今を生きる子どもたちはスマホやSNSの普及により面と向かってコミュニケーションをとる能力が著しく低下し、人間関係の希薄化という問題に直面しています。このような時代において、最も大切な学びは「心」の育成だと考えます。私たちの活動エリアには「西大寺会陽」をはじめとする地域に愛される行事が多数あります。中でも、西大寺会陽の前哨戦でもある「少年はだか祭り」は青少年たちが郷土愛あふれる大人へ成長していくためのかけがえのない大切な伝統文化のひとつです。この伝統に触れ郷土愛を学ぶことこそが「心の育成」につながるものと信じております。本年度も変わらずこの「少年はだか祭り」を大切な青少年育成事業の

一つとして捉え積極的に推進してまいります。参加した子どもたちが故郷の伝統文化を体感することで、その経験が一生の思い出になることを願い、第48回少年はだか祭りの開催を地域一体となって取り組んでまいります。

また、このお祭りは地域の子どもの心身の健やかな成長を願い、永きに渡り引き継がれてまいりました。この歴史は他ならぬ先輩諸賢の並々ならぬご尽力の賜物であり、更には地域の皆様に必要とされ続けてきたからこそと思っております。地域に愛されるこの事業を通じ、郷土への誇りと愛郷心を養い「心」の育成を行ってまいります。

また、これらの伝統を次世代に繋いでいくことにより、この町に誇りを持った子どもたちが、この地域を語り、愛し

ていくことで、明るい豊かなまちに近づくものだと考えます。

青年会議所では、よく「まちづくり」なのか、「ひとづくり」なのかと議論されますが、私はどちらも同一のものだと考えます。つまり郷土愛溢れる青少年を育成することは、明るい豊かなまちを創り、その反対に明るい豊かなまちを創ることは、自ずとその地域について深く考え、まちを愛する人になります。このようにある一方を捉えて導くのではなく、広く、深い価値観を持った「心」の育成を構築していくことで、青少年の健全な育成を行っていきます。

## 【地域で必要とされる団体へ】

私たち西大寺青年会議所は、活動エリアである岡山市東区、瀬戸内市をより明るい豊かなまちにするために運動を行っています。この中で、地域の皆様に私たちがどのような活動を行っているのか認知されていない現実を感じる事があります。地域で必要とされる団体になるためには、まずは地域の皆様に今まで以上に喜んで頂けるよう事業構築を行い、共感して頂かなければ

りません。喜ばれる事業を積み重ね行っていくうちに、「西大寺JCがやっているイベントだ」ということが認知されることで、必要とされる団体へと成長していくのではないのでしょうか。

本年度は地域の方に喜んでいただけるよう、私たちの活動エリア内にある歴史ある資源にスポットをあてた事業を行っていきます。歴史ある資源にスポットをあてることで、地域の方々に地

元の歴史、文化を体感していただき、郷土愛を醸成することにより地域を活性化してまいります。そして、地域へ誇りを持ち、好きな地域だからこそよりよくしたいと能動的に運動する人達が集まる町、「明るい豊かなまち」の実現を目指してまいります。

## 【会員拡大と優れたリーダー育成】

明るい豊かなまちづくりへと運動を展開していくための一番の方法は、青年会議所の会員を拡大し、意識を高めることです。そのためにはメンバー全員が拡大の必要性を理解し、意識を強く持ち、メンバー一丸となる拡大に取り組む仕組みが必要です。

私が青年会議所に入会したばかりの頃は「なぜ入会したのか」と聞かれた時、「仕事に繋がりたい、人との繋がりを作りたい」等の基本的には自分のためという考えでした。しかし、JCでいろいろを経験していくと、「地域

のために、メンバーのために、人のために」という考え方に変わってきました。このように自分の考え方をポジティブにより強く変えることができる団体は他にありません。会員拡大とは、会員の人数を増やすだけではなく、このようにメンバーの考え方、行動を変え、青年会議所運動に前向きに取り組めるようになることであります。

会員拡大には拡大運動をしなくても、私たち西大寺青年会議所の魅力や、運動に共感することにより、入会を希望する人が現れることがあります。この

ような入会を希望してくれる方を増やすためには、西大寺青年会議所という団体をより魅力ある団体に、そしてその魅力を地域の方に認知してもらうことが必要です。より魅力ある団体となるために、メンバー同士の絆を深め、より認知されるために、だれもがJCを体感したくなるような様々な手法を使用した広報活動を行い、会員拡大へと繋げてまいります。

## 【輝く創立60周年に向けて】

西大寺青年会議所は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に創立60周年を迎えます。本年度は記念事業や記念式典に向けて随時、準備を進めてまいります。幸いなことに私自身、創立50周年、55周年

と現役メンバーの一人として経験してまいりました。これまでの10年間を体感した一人として、今日までの西大寺青年会議所を築き上げてこられた先輩諸賢への感謝の気持ちをより強く持ち、この周年を迎えなければならないと考

えております。来たる2020年を見据え、準備期間を通しメンバー間の相互理解を深めると共に、感謝と希望に満ち溢れた輝く創立60周年を迎える準備を進めてまいります。

## 【絆を深める岡山ブロック懇親野球大会へ】

本年度、西大寺青年会議所は15年に1度の岡山ブロック懇親野球大会の主管を務めさせていただきます。現役メンバーの中にこの大会の主管を経験したメンバーはいませんが、県内15の青年会議所が集い行われる貴重な大

会を、設営させていただきます。

また、野球というスポーツを通じ、真剣に勝負をするからこそ生まれる岡山県内青年会議所メンバー同士の絆や、相手を称賛しあうことにより生まれる絆で、懇親を深めあう場となる大会を

開催します。そして、15LOMの繋がりを強くすると共に、メンバー同士協力して設営し、団結力を高めてまいります。

## 【結びに】

私は青年会議所という団体に属し、地域のため、人のために運動をしていますが、それは家族や会社の支えがあってはじめて行うことができます。当たり前のようにJCをするのではなく、周りの人の支えがあってこそその運動だということを理解し、自分を支えてくれて

いる人達に感謝の気持ちを忘れず、真剣に取り組まなければなりません。そして、優秀なリーダーとなることが、支えてくれた人たちへの最大の恩返しになります。それが地域の発展に繋がりを、明るい豊かなまちの実現へと進んでいくことを確信しています。2019年と

いう1年間の経験は、必ず一生の宝物になります。2度とないこの機会を楽しみながら、自分を信じ、失敗を恐れず、笑顔を絶やさずにメンバー一丸となり1年間走り続けます。



# 1年の抱負

副理事長

## 藤原辰徳

(公社)日本青年会議所が一昨年の「サマコン」で取り上げた「2045年問題」。これは人工知能(AI)が人間の思考速度の限界を超越することで起きる事象Singularity(技術的特異点)により、AI自身がより優れたAIを生み出し人類が新しく何かを発明する必要がなくなるといった第5次産業革命によっておきる社会変革や問題を取り上げたものでした。

このようなシンギュラリティの到来を真しやかに囁かれる時代において、中

西理事長は敢えて私たちに「心で考え、体で感じる一年にしよう」と仰いました。その所信を拝聴したとき、これぞ正にJC運動だと深い共感と感銘を覚えました。つまり、来たる時代を嘆くよりも、今を生きる私たちにとって最も大切なことは、物事を心で捉え、五感を楽しむことのできる『人間磨き』を優先しよう。そしてそれを体感できるのはJC運動しかない。と教えられたからに他なりません。

1949年、終戦から僅か4年後に

「新日本の再建は我々青年の使命である」と立ち上がった先輩諸賢。そんな「人」しかなかった時代に英知と勇氣と情熱をもって見事な復活を遂げた日本。しかし時は流れ、今や人類の必要性さえも問われる時代になりました。そんな現代に「心考体感」という一石を投げられるよう中西理事長をお支えしJC運動に邁進して参ります。一年間、どうぞよろしく願い申し上げます。

副理事長

## 谷政道

2019年度副理事長を務めさせていただきます、谷政道と申します。どうぞ1年間よろしくお願いいたします。

本年度は、私自身JC生活の8年目を迎えます。昨年、専務理事という大役を務めさせていただきました。1人1人に目配せをする力を学び、今年度、その経験を大いに生かしていきたいと思えます。

担当の委員会といたしましてはまちづくり系の委員会を担いとしめます地域わくわく委員会を担当させていただきます。中西理事長の所信にもあります通り、地域へ誇りを持ち、好きな地域だからこそよりよくしたいと能動的に運動する人達が集まる町、「明るい豊かなまち」の実現を目指してまいります。委員会メンバーとともに、1年間走り続

け、大きな1年だったと言える1年間を作っていきます。

最後になりますが、敬愛する先輩諸賢ならびに現役メンバーの皆様におかれましては、一年間ご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

# 1年の抱負(2)

副理事長

## 大植裕一

2019年度副理事長を務めさせて頂きます、大植です。1年間よろしくお願ひ致します。

前年度、初理事を務めさせて頂き、失敗や学び、そして様々な経験をさせて頂き、大変貴重なので自分自身にも転換期となる1年となりました。この経

験や教えを次の世代のメンバーにしっかりと伝えて行きたいと思ひます。

また、本年度は会員拡大を担ひとします会員拡大研修委員会を担当させて頂きます。委員会メンバーと共に精一杯楽しみながら拡大運動を行い、そして1年間全力で走り終えた際にはき

っとその先には最高の絆や成長が待っていること信じ、1年間努めて参りますのでよろしくお願ひ致します。最後に敬愛する先輩諸兄ならびに現役メンバーの皆様におかれましてご指導ご鞭撻ご協力を賜りますよう心よりお願ひ申し上げます。

専務理事

## 尾田英俊

2019年度、専務理事を務めさせて頂きたくことになりました、尾田英俊と申します。非常に大きな役割を担わせていただくことになり、大変身の引き締まる思ひです。今までよりはるかに

全体的な気配りが必要な1年間となることは間違いなく、これまでの自身を超える責任がのしかかってきます。しかしながら、中西理事長の掲げる「心考体感」のスローガンのもと(一社)西大

寺青年会議所が邁進していけるよう努めていきます。1年間、どうぞよろしくお願ひいたします。

総務委員会

委員長

## 柿内慶教

新年あけましておめでとうございます。2019年度総務委員会委員長を仰せつかりました柿内慶教です。西大寺青年会議所をしっかりと1年間下支えし、西大寺青年会議所のさらなる発展の為、邁進して参りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

本年度の3つの基本方針「伝統文化に触れ、郷土愛あふれる青少年の育成」「地域で必要とされる団体へ」「会員拡大と優れたリーダー育成」を柱とし、本年度スローガンである「心考体感」を体現すべく心で考え、運動を展開して行き、地域、家族、仲間への感謝の

気持ちを再発見、再体感し伝える為に総務委員会として積極的に出来る事を追求し1年間全力でLOMをサポートして参りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

青少年育成委員会

委員長

## 岩元龍矢

2019年度、青少年育成委員会の委員長を仰せつかりました。岩元龍矢です。1年間どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

本年度、中西理事長のスローガンに

ある「心考体感」そして基本理念にあります「～全力で挑戦することにより、得られる魅力を感じよう～」を実践するにあたりまずは自分が動き全力で挑戦して参ります。また、委員会メンバー

が成長できるようしっかりとサポートする事を目標に頑張っていきたいと思ひます。

# 1年の抱負(3)

地域わくわく委員会

委員長

## 柴田雄一郎

新年明けましておめでとうございます。2019年度地域わくわく委員会委員長を務めさせて頂きます柴田雄一郎と申します。1年間よろしく願いいたします。当委員会は地域の皆様がわく

わくできるような事業を行なっていきたいと思い名付けました。私自身初めての委員長であり、最後のJC生活となります。委員会メンバーで力を合わせ、事業の

成功と自身の成長を目標に邁進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

会員拡大研修委員会

委員長

## 山下雅史

明けましておめでとうございます。会員拡大研修委員会の委員長として1年間運動を邁進してまいります、山下雅史と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、まずは会員拡大研修という委員会名の由来について触れさせていただきます。1年間の活動として自分が担うJCの行動のすべてを込めて命名させて頂きました。輝ける60周年に向け

での姿勢であります。私たちの委員会は、西大寺青年会議所の伝統と歴史を次世代につなげるべく活動してまいります。拡大運動やコミュニケーション能力等の様々な研修を通じ、新会員、現役会員共に精進してまいります。そして、委員会の最大の使命は、会員の拡大です。定期的に情報発信をし、会員候補者に知っていただける機会を提供することが、拡大成功に繋がる一番

の近道だと考えます。本年度の拡大目標は5名です。必達に向けて、拡大運動を先導してまいります所存です。この先会員が減少し続ければ近い将来、西大寺青年会議所の未来はありません。今日まで先輩方が築き上げられた伝統を守るため、そして、明るい豊かなブルーエリア実現のために、今こそ60周年に向けて拡大を推し進める時です。

創立60周年準備室

室長

## 藤原辰徳

(一社)西大寺青年会議所は来年いよいよ創立から60年目を迎えます。60才を人は「還暦」といいます。還は「かえる」「もどる」という意味をもち、暦は干支を意味します。干支(60年で一回り)が生まれ年に戻ることから『生まれ変わり』のお祝いとして赤いモノを贈る慣習があるのはご承知の通りだと思います。

「生まれ変わる」と聞くと、如何にしても「全てを無かったことにして新たに再構築する」と捉えがちであり、現にその意味で間違いないのかもしれませんが。然し乍ら、JC運動においては、殊更(一社)西大寺青年会議所の歴史はその考え方には当て嵌りません。なぜなら『常に変化し続けている』からです。60年間という歩みの中で、ただの

一度も変化を恐れることなく常にブラッシュアップされてきたからこそ、言うなれば昨日よりも今日の西大寺JCへと生まれ変わってきたからこそ歴史は紡いでこられたのだと考えます。そう正に進化論の如く時代に即応してきたのです。

ただし、創立60年という節目を迎えることができる私たちは、唯一「立ち止まる」という特権を与えられたのだと個人的には考えております。JC「が」あった時代から、JC「も」ある時代と云われ幾年にもなります。一度立ち止まって、今を生きる時代と、そして(一社)西大寺青年会議所の本質を見つける必要があります。

少し話を折るかもしれませんが、かのミケランジェロが天才彫刻家と言わ

れた所以は「大理石の塊の中に既に完成した像の姿を見ることができた」からだそうです。つまり彼からすると「彫刻」とは彫る作業ではなく、『閉じ込められている像をキレイに取り出す。』という工程に過ぎなかったといえます。この教えを引用すると、本質を見つけるとは新しい何かを見出すことではなく、目には見えないが既にある確かなモノを取り出してくる作業といえるのではないのでしょうか。

準備室としましては、立ち止まることを許された唯一無二な幸運年に現役として迎えられる喜びと、立ち止まったからには、その本質を皆で掘り出す作業にこだわりを持つとういうことを一年かけてお伝えできればと思います。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

# 1年の抱負(4)

第68回岡山ブロック会員懇親野球大会  
実行委員長

## 谷政道

本年度、15年に1度の『岡山ブロック会員懇親野球大会』実行委員長を務めます。関係諸団体、先輩諸賢には多くのご協力を賜ることと存じます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

私自身、小学校2年生から現在まで30年以上も野球というスポーツに携わり、友情、起立、人生観、人格形成までに及ぶ、挙げればとめどないほどの学びがありました。そんな野球というスポーツの設営を通じ、私たちの活動エリアである岡山市東区、瀬戸内市の魅力をお越しいただいた方に大いに体感いただけるような大会となることを

目指します。

そして理事長所信にもあります通り野球というスポーツを通じ、真剣に勝負をするからこそ生まれる岡山県内青年会議所メンバー同士の絆や、相手を称賛しあうことにより生まれる絆で、懇親を深めあう場となる大会となるよう全力で設営いたします。そして、15 LOMの繋がりを強くすると共に、西大寺青年会議所のメンバー同士が協力して設営し、団結力を高めてまいります。

大会の成功をここに祈念し1年の抱負とさせていただきます。

第68回岡山ブロック会員懇親野球大会  
副実行委員長

## 國本秀範

メンバー丸となりスムーズな試合の運営を行い、皆様に野球に集中して頂ける環境を作りたいと思います。そこで多くの熱戦が繰り広げられる事を期待しています。しかし我々も勝ちにこだわって試合に臨みたいと思っています。

# 1月例会

会員拡大研修委員会

## 山下雅史



2019年度(一社)西大寺青年会議所、最初の例会が開催されました。理事長挨拶では『西大寺青年会議所に集うメンバーの志とは、何か。家族、仕事、JC運動への感謝、心で考えて体で表現し、本年度スローガンでもあります『心考体感』に込めた想いや、西大寺JCとしての在り方。』をお話して下

さいました。

また、委員会アワーでは、総務委員会は、LOMの下支えを。青少年育成委員会は、地域の青少年育成を。地域わくわく委員会は、地域の伝統、歴史、地域の未来の提案を。会員拡大研修委員会は、西大寺青年会議所の一層の資質向上、拡大に向けての意気込み

や必要性を。それぞれ、委員会の一年の心考体感を発表する時間になりました。全ての事に感謝「ありがとう」を持ってJC運動を邁進する例会となりました。

# 新年祝賀会

地域わくわく委員会

柴田雄一郎

1月11日(金)西大寺グランドホテルにて(一社)西大寺青年会議所2019年度新年祝賀会が開催されました。多くの御来賓、特別会員の皆様、お越し頂き誠にありがとうございました。

第59代理事長『中西秀和君』の挨拶に始まり、ご来賓挨拶・新役員会の紹介・新会員『金森成広君』の紹介と、スムーズに進行した素晴らしい会になりました。本年度スローガン「心考体感」を胸にメンバー全員で邁進してまいります。

末筆ながら、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



# 京都会議

総務委員会

委員長

柿内慶教

去る、1月18日(金)から20日(日)にかけ2019年度京都会議に参加し総会、各種フォーラム事業等に出席して参りました。

18日(金)は、中国地区協議会会員会議所並びに門前まち青年会議所連盟総会がございました。また19日(土)は第157回目となる総会、各種セミナーに参加させて頂きました。

JCの運動へ対する熱量も高く、若い力が京都に集結し、未来へ繋がる力を

感じました。

最終日の1月20日(日)の新年式典では、日本青年会議所 第68代会頭 鎌田長明君が掲げる

このままでは社会の持続が困難であり、今後より良い社会を築いて行くためには発想を転換し、SDGsを推進し、ビジネス機会を提供し、多くの子供が生まれてくる環境を作っていくと、力強く演説されました。

今回、初めて参加させて頂きました

が、中西理事長の掲げられている「心考体感」というスローガンを実践、実感し、多くの気づきや学びを体感出来ました。また、西大寺青年会議所メンバーの間の結束を高める事も出来ましたので、京都会議で得た物を糧に2019年を邁進して参りたいと思います。

京都会議をご設営に関わった皆様誠にありがとうございました。

